



明倫の里 城北

ともしび

発行・城北コミュニティ 九亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」☎25-2141

城北地区人口

世帯数 2,921 (-5)
人口 6,587人(-10)

(平成23年3月1日現在)

(カッコ内は平成23年2月1日比)

※今回は男性、女性別はありません。

3月6日城北コミュニティセンターで「第11回城北明倫まつり」が開催され、クラブ会員や校区有志の方々の演技や作品発表が行われました。大会議室では開会式後、舞台発表があり、ピンクのシャツも若々しい健康体操に続き、土居保育所園児のマーチング演奏で会場の雰囲気も一層なごみました。カラオケや民謡の朗々と響く声、ダンスの軽



ミッキーマウスマーチを元気よく



呼吸を整えゆったりと(太極拳)

将棋愛好会の部屋では静か

やかなステップや舞踏の優雅な動きに、会場は感嘆の声と大きな拍手で包まれました。また、講座室や廊下には、城北幼稚園児の力強い絵画や手編み・洋裁作品、生花や盆栽、書や絵画など日ごろの取り組みの成果が展示され、その前で、じつと見入る人、説明をする人と交流の輪が広がっていました。

第11回明倫まつり

しかし、午後の雨がちよつと残念でした。最後はお楽しみ抽選会。読み上げられる番号に歓声と拍手が上がり、大盛況の内に閉



春の香りいっぱい

な熱戦が終日続いていました。屋外のパザール会場は「たこ天」を買う行列や温かいうどんや焼きそばを食べながら談笑する人たちが賑わいました。



いいものが当たりますように

義援募金にご協力を
市社会福祉協議会などでは、東日本大震災の義援募金箱を城北コミュニティセンターに設置しました。皆さまのご協力をお願いします。

城北コミュニティ「明倫の里 城北」(細谷達則会長)では平成23年度総会を5月15日(日)午後1時から開きます。

城北コミュニティ

5月15日に総会



みんな上手ね

会となりました。人と人のつながりの大切さや生涯の学びの楽しさを知る一日となりました。実行委員や参加の皆様のご苦勞に感謝しつつ、来年もまた大勢の方との出会いを願っています。

城北防犯パトロール隊意見交換会開催

御供所児童遊園に防犯カメラ設置

城北防犯パトロール隊意見交換会が2月26日、城北コミ



いつもありがとう

ユニティセンターで開かれまし。隊員をはじめ、警察や市、城北小などの関係者のみなさんら約60人が出席され、細谷隊長が「日ごろの活動ありがとうございました。これからも子供たちを見守って下さい」とあいさつ。

丸亀警察署の大浦生活安全課長が、御供所町児童遊園への防犯カメラ、非常ボタンの設置方針を説明しました。ボタンは押しすと赤色灯やブザーが鳴り、犯罪の未然防止の効果が期待されています。近隣の駆けつけ隊のみなさんはプ

ザ音が聞こえた時には見回ったり、駆けつけることになっていきます。

昨年12月に発足した公園見

年齢とともに体が弱ってきたかな? こんな人にとびつたりの「介護予防のため

の体操教室「しゃんと体操」が5月から毎月、城北コミユニティセンターで開かれます。

しゃんと体操で心身機能低下を防ぎませんか

5月から毎月教室開く

第1回は5月10日(火)午後1時30分から約2時間。6月からは毎月第1火曜日。ただし、センター休館日に重なること変更になります。体操教室は健康運動指導士が指導。筋力アップ体操や整理体操などのほか、レクレーションも盛り込まれます。

を問わず、参加申し込み不要。直接会場へ出掛ければよい。無料。

守り隊については、校区内の公園で事件が多発しており、防犯協会の協力を得て「みんなの公園」の冊子を作成。パト

ロールの充実を図る予定です。隊員以外の方も子供たちが散歩や買物等で通学路を通る時には、温かい気持ちで見守って下さい。

入学おめでとう

平成23年度の新入学の幼児、児童、生徒数は次の通りです。

平成23年度新入学予定者数(3月2日現在)

校名	性別	男子	女子	合計
平山保育所		7	3	10
土居保育所		5	12	17
城北幼稚園		6	7	13
城北小学校		20	33	53
東中学校		134	101	235
合計		172	156	328

センターに「こどもの駅」授乳、おむつ替えにどうぞ

県の認定施設「こどもの駅」が城北コミユニティセンターに整備されました。和室の小会議室にじゅうたんを敷き、ついたてを設けています。周囲の目を気にすることなく、授乳、おむつ替えなど、

子供の世話をすることができま。駐車場には妊婦用駐車スペースも作られています。設備費用は助成金が当てられました。

こどもの駅は県の本年度新規事業で子育て中の母親や妊婦が安心して外出できる環境を整えようと、公共、民間施設に協力を呼びかけて整備をすすめています。



周りの目を気にせず赤ちゃんの世話も

市内では城北コミユニティ

センターを含めて17施設が認定を受けたり、申請中です。

地域で子育て支援を

丸亀市子育て支援事業(ファミリー・サポート・センター)では、子育ての応援をしてくれる(まかせて会員)を募集しています。会員登録には「まかせて会

員養成講座」の受講が必要です。

第1回まかせて会員養成講座は5月24日(火)、25日(水)の午前9時30分から午後3時30分までひまわりセンターで開かれます。

詳しくは丸亀市社会福祉協議会丸亀市ファミリー・サポート・センター(☎0877・22・5700)へ。

男性も地域参加を

—生き生き第二の人生—

第18回地域いきいき講座が2月16日城北コミュニティセンターでありました。

社会の第一戦を退き、第二の人生を迎えた夫婦の家庭や地域での在り方をテーマにし



なごやかなグループ討議

退職後は、孤独を感じると共に生活がルーズになりがちであった。たまたま、城北広報紙で「卓球クラブ」があることを知り、在職中に卓球をしてきたこともあり、趣味の継続と健康維持に良いと思いいし込んだ。会員は、同

卓球で地域デビュー

た「劇団はあもにい」の寸劇「あなたと私の家族」を見た後、34人の受講者が、3グループに分かれて老後の生き甲斐や夫婦の役割分担、地域への協力等について話し合った。「退職後、各人が持っている技術や知識を再び地域に活用するために地域の人材バンクを作ってはどうか」「趣味の世界を広げよう」というような意見や「男と女どちらが得か」「一人残されたらどうするか」などの問いには率直な思いが述べられたりした。男性の参加者が多かったのも今回の講座の特徴であった。

世代の人たちですぐにうち分け、今はマイペースで練習を楽しんでいる。休憩の合間の世間話や各種卓球大会の参加を通して、仲間の交流の輪が広がったのはうれしい。

思い切って参加したことにより、生活に張りができ、地域行事への参加もやすくなった。

(H・Y)

2月23日、高橋佳子先生を迎え城北母子愛育班主催「紙バンドかご編み教室」が城北コミュニティセンターで行われました。

紙バンドかご編み教室

年配の会員、母子会員合わせて28人が参加。初めは紙バンドを縦と横に接着剤を付けてながらすき間が出来ないように洗濯バサミで挟んで編み進んで行きました。



かわいいかごができました

家族ハイキングに参加を!!

今年も新しいコースで楽しんで下さい。

【日時】 4月10日(日)
【行き先】 宝山湖(香川用水調整池)

○香川用水記念公園
○たからだの里
(いずれも三豊市財)

265万円集まる

城北地区22年度共同募金

平成22年度共同募金の城北地区最終集計がまとまりました。

んにも教えてもらいながら和気あいあいに時も忘れるほど

夢中になって指先を動かしての作業です。最後にかわいい飾りリボンを付けて出来上がりです。

子供のお菓子や小物をいれるのにぴったりのかわいいかごが、全員時間内に編みあがりました。

お城で初春ウオーク

1月9日、おめでとうウオークが行われました。

参加者32人。丸亀城大手門出発、歩きやすくなった見返り坂から天守までマイペースで登りました。

【集合場所】 城北小学校運動場南側顕彰碑前
【集合時間】 午前9時30分
貸切バス利用又は自家用車にて目的地へ

【参加申込】 4月6日(水)
城北コミュニティセンター。(詳細は自治会を通じ回覧板で)

【参加申込】 4月6日(水)
城北コミュニティセンター。(詳細は自治会を通じ回覧板で)

県共同募金会丸亀支会の集計によりますと、城北地区募金総額は264万9500円でした。

内訳は赤い羽根が210万1250円(戸別募金162

万3250円、法人募金47万8000円)、歳末たすけあい募金が54万8250円。

地区の皆さまのご協力ありがとうございました。

新年にしか体験できないウオークで楽しかった。(体育部会)

myハンカチ作りを通して

土居保育所長 新井 道子

今の私たちの生活は、ほしいものがあれば、すぐに手に入る便利な時代ですが、手間をかけることの大切さを忘れてはいけないうように思います。

を集めて、染物に挑戦しました。布にビー玉を輪ゴムで巻きつけるのは、難しかったけれど投げ出さず、頑張りました。乾いた葉をちぎり、鍋

学園の現場から

人の名前を刺繍（ししゅう）して、myハンカチの出来上がり。世界に一つだけのハンカチです。

みんなのハンカチを繋いで、大きなこいのぼりにしました。また給食のときはランチョンマット、クッキングの時は三角巾にもなり、保育の中で活用しています。ピワの葉という自然の材料から生まれるやさしい色合いに、使い込むほど愛着が湧いてくるようです。



こいのぼりができたよ！

児童公園 子供とゆったりした時間を

暖かくなつて、お日様の下、子供たちが元気に駆け回る楽しい遊び場。城北地区にも、思わず出掛けて見たくなる公園がありますので、紹介します。

こじんぽん知っとんぽん

【御供所児童遊園】（御供所町二丁目）砂場、滑り台、ぶらんこ、ジャンゲルジム、石の山、水道、トイレなど。

【富士見児童公園】（富士見町一丁目）砂場、滑り台、ぶらんこ、水道、トイレなど。

【安達児童公園】（土器町東八丁目）砂場、滑り台、ぶらんこ、鉄棒、水道、トイレなど。

り、顕彰文を刻んだ石や敷石には県内産の主な石材が使われています。

【平山児童遊園】（北平山町二丁目）滑り台、ぶらんこ、

【二軒茶屋児童公園】（土器町三丁目）砂場、鉄棒、水道、

【東汐入川緑道公園】（土居町三丁目）砂場、鉄棒、水道、

ト用ゴール板、水道など。

【東新開児童公園】（土器町東九丁目）砂場、土管、簡易トイレなど。

【石の広場】（土居町三丁目）石の腰掛け、水道など。金子正則・元県知事の顕彰碑がある。

まだまだ楽しい公園がたくさんあります。お弁当を持って出かけるなどして、子供たちと、ゆったりとした時間を過ごしませんか。

（おわり）



御供所児童遊園で遊ぶ子供たち

地名の由来

富士見町

讃岐富士と言われる飯野山が、一望できるところから名付けられた。もとは、丸亀市土居字渡場の一部。丸亀城の北東を流れる東汐入川と、土器川に挟まれた海浜の平地。昭和39年に海面を埋立て、同44年に競艇場諸施設の設備改築竣工、同46年、52年の海面埋立てによりできたのが、今の富士見町である。

（おわり）

あとがき

阪神大震災の後、日本列島は立て続けに大きな地震被害に見舞われてきた。そして今回の東日本大震災。あまりの悲惨さにテレビ画面を正視できない時もあった。

「遠い地の出来事と思っていたが、首都圏に住む家族の安否確認に追われた」という話を周りで聞いた。

近い将来、南海地震が起きるといわれている。今一度、避難場所の確認や非常用品の点検・準備を進めたい。

（香川）